

地域薬剤師会だより

廿日市薬剤師会／東広島薬剤師会



<廿日市薬剤師会>

大野健康福祉フェスタ

宮森 ひろみ

10月4日(日)「大野健康福祉フェスタ」が開催されました。

廿日市市薬剤師会では、広島大学薬学部臨床薬物治療学研究室との共同出展にて、血糖・コレステロール等の簡易検査を行う「指先から健康チェック」を実施いたしました。

全体の流れとしては、希望者の方に事前アンケートの記入、注意事項の説明後、同意書に署名していただきました。待ち時間の間には、アストリウムフィットを使い貧血の検査を行いました。この機器は採血する事なく、中指一本でヘモグロビン推定値を測定する事ができます。測定された方も「これだけでいいの?簡単ね」と感想を述べられていました。

HbA1c、総コレステロール、HDL-コレステロール、中性脂肪、および血糖値から希望する項目を選んでいただき、指先の自己穿刺してもらった後、血液を採取、測定を行いました。



結果をお伝えして気になる方には、医師会の相談コーナーをお勧めしました。

今回の検査に参加された方の内訳は、HbA1c測定が約80名、脂質測定が約60名でした。参加された方の中には、薬局内で簡易検査が可能であることをご存知の方もおられ、測定後のアンケートでは、薬局内での検査を希望する方が多数おられました。検査に参加された方々は、健康に対する意識が高く、服用中の薬についての相談、「間食がやめられない。どうしたらいいのか?」などの生活習慣や食事に関する相談や、ご自分が実行中の食事療法や運動療法についての経験談をされる方もありました。



また、お薬手帳を持つことの大切さをお伝えするため、受付にはカーブがデザインされたお薬手帳を用意し希望される方にお配りしました。

参加して感じた事は、普段一緒に仕事をする事ができない方(他の病院、薬局の薬剤師、研修生、研究室の方々)とのチームワークの大切さや、サポートしていただいたことへの感謝の気持ちです。多くの方々と協働する今回の経験は、多職種連携が必要な在宅医療に役立つと感じ、また健康サポート薬局、かかりつけ薬局として地域医療に貢献するためには、これまで以上にコミュニケーション能力が必要ではないかと感じました。今回の経験を仕事に生かせればと思いました。

廿日市市あいプラザまつり 「指先から健康チェック」

忠末 佳代

11月8日(日)廿日市市健康センター(あいプラザ)において今年で4回目の「指先から健康チェック」を実施しました。雨にもかかわらず、たくさんの方に来場していただきました。





今年も事前に広島大学臨床薬物治療学研究室の森川則文教授のご指導を受けた30名弱の薬剤師の先生方と研究室の方々、実習中の薬学生とで対応しました。

この企画は来場者の方に指先の自己穿刺してもらい、その微量の血液を測定機で計測し約10分で数値をお渡しできるものです。

測定項目はHbA1c、中性脂肪、総コレステロール、尿酸値、血糖値です。来場者のかたに選択していただきましたが、ほとんどの方が全項目を選択されていました。

去年から始めた貧血検査で血中のヘモグロビン値を簡易測定できるのも実施しました。これは電池式で軽いのので待ち時間の間に薬剤師が持って席を回りました。

この企画も浸透してきたようで毎年参加の方もいらっしゃいました。この事からも健康に関する意識の高さも、うかがえました。そして結果が基準値以上の方は測定数値の紙を持って医師会や栄養士の相談コーナーでアドバイスを受けておられました。

今回この企画のアンケートと合わせて「健康食品の医療にかかわる県民実態調査アンケート」も実施し、約100名の回答を得ました。また、「カープお薬手帳」も配布し、お薬手帳の重要性も来場者に説明しました。結構、若い方に「カープお薬手帳」は好評でした。

今回の経験から、もっと地域の健康のお手伝いができる「かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師」を強く意識させられました。

そして、途中で廿日市市長も来場されました。時間の関係で企画参加はされませんでした。いろいろと質問をされていて行政の関心の高さもうかがえました。

最後に、この企画の実施にあたり森川教授をはじめ臨床薬物治療学研究室の皆様、廿日市市五師士会の皆様、ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。